

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第72号(2013. 3. 1)
事務局川西地区自主防災会

研修会「防災について」を開催して

香川中部養護学校オリーブ卒業生親の会
太田てる代

東北大震災から早や2年が過ぎようとしています。近い将来予測される南海トラフ大地震では、私たち地元でも、被害が心配されています。そこで、丸亀市川西地区自主防災会会長、岩崎正朔氏を講師にお招きし、1月末かがわ総合リハビリテーションセンターにおいて「防災について」の研修会を開催しました。

講師は東北大震災後にいち早く現地にボランティアとして赴かれ、陸前高田市の障害者施設で利用者と寝食を共にされ、様々な支援活動を行なったそうです。数か月後に現地にボランティアとして行かれた時、気がかりであった施設を再度訪問。利用者が再会を喜び、別れ際には涙を流したという、心温まるふれあいのお話も聞くことができました。

まさかの災害の時には、普段から準備する事は何か、障害のある子供を持つ親として何を留意すべきか、防災への取り組みをお聞きしました。

ここで我々のことを少しご説明します。

オリーブ卒業生親の会は、香川県立香川中部養護学校（知的障害）卒業生の保護者で組織し、会員相互の親睦と連携をはかり、知的障害児者の地域社会における自立を促進することを目的としています。顧問先生方、香川中部養護学校の全面的なご支援の下、卒業生は同窓会、保護者は親の会活動を続けています。

年間活動としては、総会、研修会の開催・各種団体との連絡提携・親子研修旅行の実施・成人式、新年会の開催等があります。

取り分け、1月の成人式・新年会は例年180名ほどの参加者で賑わいます。学校時代にお世話になった先生方も大勢出席され、新成人のお祝いをしています。女性は華やかな振袖・ドレス姿。男性は背広は勿論・紋付袴・今年は燕尾服姿も見られ、親御さんの思いが伝わってきました。地域の成人式に参加しにくい卒業生の、和やかな



お祝いの会となっています。写真は成人式の時のものと親子研修旅行宿泊先での銭太鼓披露の様子です。

さて、講演は、東北大震災の生々しい映像を見ながら、岩崎氏より詳しい説明を受けました。助けを求める人たちの悲痛な叫び声、見る見る津波にのみこまれていく車や建物、長さ200mもの頑丈な防波堤が跡形もなく流された様子等、驚くばかりの自然災害の威力に言葉もなく見入りました。犠牲者も多数出たとか、胸が痛みました。

ある幼稚園では独自に避難経路を決め、日頃より訓練を重ねていたので、この日も訓練通りの素早い避難ができ、一人の犠牲者も出さなかったそうです。園児の命は自分達で守ろうとする、先生たちの強い責任感と行動力に感動しました。

また、予測される南海トラフ地震についても、細かいデータを示され、10数年後に大地震が起こりうることの説明を受けました。高知県室戸岬は約100年ごとに起きた周期性大地震で地盤が4～5mほど盛り上がり続け、現在の地形になったそうです。私達が住んでいる四国も爪の伸びる速度で年間6cmほど変動しているとか。初めて聞く話に驚きました。

県下での災害予想は、震度6弱～7、津波も3～5m、家屋倒壊も55,000戸予測されるとか。高潮の心配はなくても、地震時の家具倒壊は大いに予測されます。

その対策として大変参考になるお話を聞くことができました。

- ・ダンボールで家具と天井の隙間を埋める事で家具倒壊を防げる。
- ・自宅での強化スペース（台所・居間等）を作り、そこを避難場所にする。
- ・寝室はできるだけ家具を減らす。
- ・耐震検査を受ける。
- ・耐震補強に県の補助金が受けられる。
- ・ため池の下流は避難を早くすること。5分～10分で堤防が裂ける時がある。
- ・非常持ち出し袋を用意する。その置き場所は屋外の車庫等がいい。
- ・家族で避難ルートを確認しておくこと。

講演後に参加者より質問事項がでました。

Aさん…東北大震災の報道を聞くたびに心が痛みました。私たちと同じ障害のある子供さんのご家庭はどうされたのでしょうか。避難所に居るのは難しい人もいたと思います。娘もこだわりが強く、まさかの時にはどうしたらいいかと思います。

Bさん…一般の方たちと避難所にいるのは難しく、車の中で過ごした障害者家族もいたと聞きました。養護学校や施設を避難場所にしてくれるといいのですが、現実としてその場所に行くことも難しいですね。

講師……関係した支援先では、体育館の中をパーティションで区切り、優先スペースが作られていました。だが、プライベートスペースがない避難先もあり、トラブルが頻繁にあったとか…。市役所等から離れた地域では、物資・公的支援の手が差し伸べられなかった所もありました。自治会等での助け合いが大事になってきます。

Cさん…災害時の援護申請（障害者本人）を地元民生委員さんに提出していますが、最近お会いすることが少なくなり気になっています。

Dさん…自治会に援護申請をだしていますが、担当がどなたなのか分からない状況です。

講師……地域の民生委員さんには、日頃こちらから声掛けをしたり、地域の活動に参加してコミュニケーションを取ることも大事です。地元コミュニティセンター等で氏名を確認できます。

今回の研修で防災について、日頃の準備の大切さを学びました。同じ悩みを持つ会員どうし、質問事項もわが身に置き換えて真剣に聞けました。

東北大震災では、一人取り残された障害者はいなかったのだろうか。わが子は家族と離ればなれになった時、周囲の人に状況を伝えられるだろうか。外見では分かりづらい、てんかんや自閉症等の障害者を理解してもらえるだろうか等々、私たちの心配は尽きません。

まさかの時のために、今後は会員間の連携、助け合いをより密にすると共に、日頃から自治会等地域の人達に障害のある本人の状態を知ってもらえるよう、働きかけておくことが必要だと思いました。

宮城県石巻高等学校 三国校長先生を招き研修

2月10日（月）サンビレッジ土器川において、東北支援活動において、現地の避難所で、お世話になりました。石巻高等学校の校長（震災当時 石巻市立石巻女子高等学校 校長）三国清美氏を招き、かがわ自主ぼう連絡協議会主催による防災講演会を開催、県内各地の自主防災会並びに学校関係者約150名が出席された。

南三陸町や石巻市内、更には、大川小学校をおそいかかった津波の生々しい映像（動画）や石巻市立門脇小学校周辺の火災の様態など、息をのむような「3月11日」の出来事を話していただいた。



特に印象に残ったことは、

- ・地震は神戸クラスが3回発生、生きた心地がしなかった。
- ・津波は下から海面を押し上げる状態でおそいかかってきた。
- ・すべての川に遡上してきたが、まずは川面をチョロチョロと流れ込んでくるが、その300m後方には、家押し流しながらの恐ろしい津波が激しい勢いで流れ込んできた。(生映像で紹介された)
- ・石巻女子高等学校には、約1000人の避難者が逃げこんできたが、日和山公園周辺の火災がひどく、夜中(午前1時30分)に全員、内陸部の中学校へと避難させた。
- ・情報伝達はすべて自分の足に頼るしかなかった。
- ・ラジオ等の情報に振り回された。正確な情報が確認しておくことが大切だ。
- ・とにかく、3日間は食べ物、更には毛布もなく、何とか翌日の3月12日朝、日和山公園(海拔60m)にあるお店を回り、校長の名刺を見せて、ある限りの食品を分けてもらい、3日間少しずつ食べて命をつないだ。
- ・避難所の自治、約2週間は、校長の責任において実施し、その後は避難者の中から村長、班長を決めてもらい、避難者によって運営してもらった。
- ・学校の受水とうの水を節約しながら使用することは避難生活に欠かせない大切なことだった。
- ・避難所を開設すると、保健室には様々な症状を訴えて人々が殺到してきた。
- ・地震保険に加入していた人達は、復興が順調に進んでいる。
- ・登下校中及び在宅時の避難対応の指導が必要である。
- ・復興活動において、さまたげになっているのは、「相続の関係」と「登記上の問題」で超法的措置をしないと、予算はあっても、現物の作業が進まない実状である。

講演は約2時間に及んで最後に石巻高等学校の生徒達の心得綱領の紹介があり、万雷の拍手により終了した。



<石巻高等学校の私達の標語>

- ・ 質実剛健
- ・ 進取独創
- ・ 自ら進運ヲ開拓スベシ

事務局だより

平成25年3月

かがわ自主ぼうの事務局より、最近の活動を紹介します。

2月13日自主防災組織リーダー研修会

この研修会の講師として、県内自主ぼうの活発に活動している防災組織から7名を派遣しました。次期研修をふまえ、「振りかえり」を行ない、次の点について、改善を図りたいと思っています。

- ・講師の皆さんにもっといねいに「訓練のポイント」について説明するべきであった。
- ・特に「自主ぼう会長」とか「自治会長」「班長」のあるべき姿の共通認識が不足だった。
- ・訓練受講生の皆さんには、事前に15分ほどさいて、「訓練のシナリオ」、更には主要なポイントなどについて、説明するべきだった。



事務局からのお知らせ

かがわ自主ぼうの代表者である岩崎正朔が、代表をつとめております瀬戸内海塾の塾長である東大名誉教授の月尾嘉男氏が3月22日に琴平町で無料講演を行ないます。多くのご参加をお願いします。

日時：平成25年3月22日（金）18：30～

会場：琴平町公会堂 大ホール 演題：「先住民族の叡智」

編集後記

今月の防災減災の輪は、香川中部養護学校オリーブ卒業生親の会 太田てる代様より原稿をお寄せいただきました。併せて先日開催された宮城県石巻高等学校 三国校長先生の講演会の模様も掲載しております。